

令和5年度 指定管理者年度総合評価表

(令和5年4月～令和6年3月実施分)

作成日	令和6年6月5日
-----	----------

■指定管理者概要

施設名	八戸公園（こどもの国・八戸植物公園）	
所在地	八戸市大字十日市字天摩33-2	
施設概要	設置目的 八戸公園は、子供から大人まで楽しく過ごせる場として、また、災害時の広域避難地や都市緑化推進の情報発信基地としての役割など、市民の生活環境への関心や余暇増大等に伴う多様なニーズに対応した、八戸圏域を代表する屋外レクリエーション施設の核として設置したものである。 施設内容 ○こどもの国・・・入口広場ゾーン、芝生広場ゾーン、展望ゾーン、遊園地ゾーン、わんぱくゾーン、動物ゾーン、サクラの杜ゾーン、駐車場ゾーン ○八戸植物公園・・・緑化植物園ゾーン	
指定管理者	名称	三八五流通株式会社
	代表者	代表取締役 泉山 元
	所在地	八戸市大字長苗代字上中坪35-1
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	
指定管理者の業務	管理業務の範囲 1 施設の利用に関する業務 2 公園施設、設備等の維持管理に関する業務 3 その他市長が必要と認める業務	
市所管課 (問合せ先)	都市整備部 公園緑地課 管理緑化グループ	
	電話	0178-43-9141 (直通)
	e-mail	koen@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評価	令和5年度は、八戸公園指定管理者として第4期5年目、通算18年目の管理運営業務を実施した。 1 施設利用者数増加のための諸施策を試みた結果、以下のとおりとなった。 ・イベント回数、内容充実による利用者数の増加。 ・大型複合遊具の利用促進。 ・広報はちのへ、地元新聞社等のマスメディア及びSNSを活用した情報発信。 2 緑化推進の情報発信基地としての役割を果たすため、緑化推進業務を予定どおり実施しつつ、内容の充実に努めた。 ・緑の専門相談、園芸教室、各種展示会の開催。 ・バラ園はじめ植栽の適切な管理。 3 少子高齢化社会を迎えた市民の生活環境の変化と多様なニーズに対応した屋外レクリエーション施設として、特に安全管理を重視して運営に努めた。 ・子どもから高齢者まで安心して楽しく過ごすことのできる憩いの場を目指して、以下のとおり対策を実施した。 ① カナール広場、噴水周辺を始めとしたインターロッキング修繕 ② 芝生広場北側通路(未実施部約70m)のアスファルト舗装修繕。 ③ ベンチの修繕、再塗装 ・環境美化活動の一環として、公園外周道路の清掃活動を実施した。
今後の目標	令和6年度も、適切な施設の管理運営、イベントや内容の充実を図り、これまで培ってきた経験やノウハウを生かし適切な指定管理業務を実施していく。

■市（所管課）の総合評価

評 価	・ 広大な面積の総合公園であるが、清掃を細やかに行う等、環境美化に努めていた。 ・ 芝生やバラ等、公園内の植物管理が適切に行われていた。 ・ 公園施設の塗装等について、出来る限り自前で行い、経費削減に努めていた。 ・ 適切な社員教育により、公園の管理状況や接客が一定のレベルに保たれていた。 ・ 施設の維持管理が良好に行われていた。 ・ 自主事業を継続して実施し、利用者の満足度向上に努めていた。 ・ 遊園地ゾーンの運営についても、新に追加された大型複合遊具の適切な維持管理を行い、キャッシュレス決済の導入についてスムーズな対応にあたることができた。
指摘事項	・ 特になし

[評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、—評価不能]

■管理運営状況に係る個別評価

1 管理状況

指標	評価	評価に対する説明																			
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開園時間や休園日が遵守されていた。																			
法令の遵守	○	関係法令を遵守していた。																			
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。																			
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が遵守されていた。																			
障がい者の雇用状況	○	令和3年度より1名を継続雇用している。																			
協働のまちづくりへの協力	○	提案内容に基づく地域貢献活動が行われていた。																			
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修が適切に行われていた。 <table><tr><th>実施月</th><th>内容</th><th>参加人数</th></tr><tr><td rowspan="2">4月</td><td>総合防災訓練</td><td>46名</td></tr><tr><td>遊戯施設運行管理者・運転者等講習会</td><td>1名</td></tr><tr><td>11月</td><td>緑の相談所防災訓練</td><td>28名</td></tr><tr><td>2月</td><td>サクラ剪定講習会</td><td>10名</td></tr><tr><td rowspan="2">3月</td><td>協働のまちづくり出前講座</td><td>21名</td></tr><tr><td>こどもの国遊具安全講習</td><td>24名</td></tr></table>	実施月	内容	参加人数	4月	総合防災訓練	46名	遊戯施設運行管理者・運転者等講習会	1名	11月	緑の相談所防災訓練	28名	2月	サクラ剪定講習会	10名	3月	協働のまちづくり出前講座	21名	こどもの国遊具安全講習	24名
実施月	内容	参加人数																			
4月	総合防災訓練	46名																			
	遊戯施設運行管理者・運転者等講習会	1名																			
11月	緑の相談所防災訓練	28名																			
2月	サクラ剪定講習会	10名																			
3月	協働のまちづくり出前講座	21名																			
	こどもの国遊具安全講習	24名																			
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への準備が十分できていた。																			
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。																			
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書及びその他報告等が適切に提出されていた。																			
利用料金の取扱い	○	市で示した基準どおりに利用料金を適切に徴収していた。																			
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。																			

通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	草刈りによる飛び石が車両にあたった事故が発生したが、丁寧に対応することでスムーズに示談することができた。
指定管理開始前における準備	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けているため、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	—	今期（令和6年度～10年度）において継続して指定管理者の指定を受けていたため、引継ぎなし。
重要事項の変更の届出	—	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可が八戸市都市公園条例に基づき適切に行われていた。（使用制限、使用条件の変更、入場拒否はなかった。）
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明															
施設利用状況	○	利用者数は前年度を下回ったが、過去10年間のうち3番目の多さとなった。利用料も過去2番目の多さであり、高い水準を維持している。 <table> <tr> <th></th><th>遊具利用料</th><th>利用者数</th></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>56,546,900円</td><td>435,158人</td></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>84,650,500円</td><td>613,747人</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>85,831,420円</td><td>601,657人</td></tr> <tr> <td>前年度比</td><td>1,180,920円 (101.4%)</td><td>△ 12,090人 (98.0%)</td></tr> </table>		遊具利用料	利用者数	令和3年度	56,546,900円	435,158人	令和4年度	84,650,500円	613,747人	令和5年度	85,831,420円	601,657人	前年度比	1,180,920円 (101.4%)	△ 12,090人 (98.0%)
	遊具利用料	利用者数															
令和3年度	56,546,900円	435,158人															
令和4年度	84,650,500円	613,747人															
令和5年度	85,831,420円	601,657人															
前年度比	1,180,920円 (101.4%)	△ 12,090人 (98.0%)															
その他利用状況	◎	八戸植物公園は平成31年度をピークに緩やかな減少傾向が続いている。こどもの国は過去10年間のうち2番目の多さとなり、無料の大型複合遊具による集客効果が現れている。 <table> <tr> <th></th><th>こどもの国入場者数</th><th>八戸植物公園入場者</th></tr> <tr> <td>令和3年度</td><td>395,753人</td><td>23,735人</td></tr> <tr> <td>令和4年度</td><td>721,005人</td><td>36,162人</td></tr> <tr> <td>令和5年度</td><td>768,894人</td><td>39,684人</td></tr> <tr> <td>前年度比</td><td>47,889人 (106.6%)</td><td>3,522人 (109.7%)</td></tr> </table>		こどもの国入場者数	八戸植物公園入場者	令和3年度	395,753人	23,735人	令和4年度	721,005人	36,162人	令和5年度	768,894人	39,684人	前年度比	47,889人 (106.6%)	3,522人 (109.7%)
	こどもの国入場者数	八戸植物公園入場者															
令和3年度	395,753人	23,735人															
令和4年度	721,005人	36,162人															
令和5年度	768,894人	39,684人															
前年度比	47,889人 (106.6%)	3,522人 (109.7%)															
自主事業	◎	3年ぶりに八戸公園春まつりや縄文なべまつりなどの自主事業を多数開催し、集客に努めた。 （主なもの） <table> <tr> <th>開催期間</th><th>事業名</th><th>備考</th></tr> <tr> <td>4/29～5/7</td><td>はちのへ公園春まつり</td><td>来場者 140,631人</td></tr> <tr> <td>7/15～17</td><td>世界の昆虫展</td><td>来場者 922人</td></tr> <tr> <td>10/9</td><td>縄文なべまつり</td><td>2,800食のせんべい汁を配膳</td></tr> <tr> <td>3/17</td><td>桜の枝プレゼント</td><td>来場者 106人</td></tr> </table>	開催期間	事業名	備考	4/29～5/7	はちのへ公園春まつり	来場者 140,631人	7/15～17	世界の昆虫展	来場者 922人	10/9	縄文なべまつり	2,800食のせんべい汁を配膳	3/17	桜の枝プレゼント	来場者 106人
開催期間	事業名	備考															
4/29～5/7	はちのへ公園春まつり	来場者 140,631人															
7/15～17	世界の昆虫展	来場者 922人															
10/9	縄文なべまつり	2,800食のせんべい汁を配膳															
3/17	桜の枝プレゼント	来場者 106人															

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明																																																														
指定管理業務の収支状況	○	収入は計画を達成し、対前年度比では101%となった。主な要因としては、無料の大型複合遊具が設置されたこと及びSNSによる積極的な情報発信により来園者数が増加したことが挙げられる。																																																														
		(単位：円)																																																														
		<table><tr><td></td><td>項目</td><td>収支計画</td><td>収支実績</td><td>前年度実績</td></tr><tr><td rowspan="5">収入 ①</td><td>利 用 料 金</td><td>72,000,000</td><td>85,831,420</td><td>84,707,148</td></tr><tr><td>指 定 管 理 料</td><td>109,746,000</td><td>109,746,000</td><td>109,746,000</td></tr><tr><td>電気・ガス価格高騰対策支援補助金</td><td>0</td><td>321,000</td><td>649,000</td></tr><tr><td>東北電力節電達成特典金</td><td>0</td><td>6,365</td><td>0</td></tr><tr><td>修繕料繰越金</td><td>97,378</td><td>97,378</td><td>0</td></tr><tr><td></td><td>計</td><td>181,843,378</td><td>196,002,163</td><td>195,102,148</td></tr><tr><td rowspan="5">支出 ②</td><td>人 件 費</td><td>117,612,000</td><td>117,872,970</td><td>114,065,707</td></tr><tr><td>維持管理経費</td><td>32,965,000</td><td>35,896,578</td><td>34,708,131</td></tr><tr><td>事業費・一般事務費</td><td>15,730,000</td><td>16,553,266</td><td>15,585,181</td></tr><tr><td>租 税</td><td>12,095,000</td><td>13,041,357</td><td>13,164,441</td></tr><tr><td>計</td><td>178,402,000</td><td>183,364,171</td><td>177,523,460</td></tr><tr><td></td><td>次年度修繕料繰越金③</td><td>97,378</td><td>97,378</td><td>97,378</td></tr><tr><td></td><td>収入-支出(①-②-③)</td><td>3,344,000</td><td>12,540,614</td><td>17,481,310</td></tr></table>		項目	収支計画	収支実績	前年度実績	収入 ①	利 用 料 金	72,000,000	85,831,420	84,707,148	指 定 管 理 料	109,746,000	109,746,000	109,746,000	電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	321,000	649,000	東北電力節電達成特典金	0	6,365	0	修繕料繰越金	97,378	97,378	0		計	181,843,378	196,002,163	195,102,148	支出 ②	人 件 費	117,612,000	117,872,970	114,065,707	維持管理経費	32,965,000	35,896,578	34,708,131	事業費・一般事務費	15,730,000	16,553,266	15,585,181	租 税	12,095,000	13,041,357	13,164,441	計	178,402,000	183,364,171	177,523,460		次年度修繕料繰越金③	97,378	97,378	97,378		収入-支出(①-②-③)	3,344,000	12,540,614	17,481,310
			項目	収支計画	収支実績	前年度実績																																																										
		収入 ①	利 用 料 金	72,000,000	85,831,420	84,707,148																																																										
			指 定 管 理 料	109,746,000	109,746,000	109,746,000																																																										
			電気・ガス価格高騰対策支援補助金	0	321,000	649,000																																																										
			東北電力節電達成特典金	0	6,365	0																																																										
			修繕料繰越金	97,378	97,378	0																																																										
			計	181,843,378	196,002,163	195,102,148																																																										
		支出 ②	人 件 費	117,612,000	117,872,970	114,065,707																																																										
			維持管理経費	32,965,000	35,896,578	34,708,131																																																										
			事業費・一般事務費	15,730,000	16,553,266	15,585,181																																																										
			租 税	12,095,000	13,041,357	13,164,441																																																										
			計	178,402,000	183,364,171	177,523,460																																																										
	次年度修繕料繰越金③	97,378	97,378	97,378																																																												
	収入-支出(①-②-③)	3,344,000	12,540,614	17,481,310																																																												
自主事業の収支状況	△	収支は赤字であったが、はちのへ公園春まつりや縄文なべまつりは集客力もあり風物詩的なイベントとしても定着していることから、高く評価できる。																																																														
		収入 3,942,267円（計画3,000,000円） （内訳）食堂・売店手数料、自動販売機手数料、出店業者出店料等																																																														
		支出 5,174,831円（計画3,000,000円） （内訳）公園施設設置占用料、イベント出演者及び講師への謝礼、手伝いのお礼、材料費、消耗品費、作業車、音響等																																																														

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。 ・令和5年8月11日(金)～20日(日)にアンケートを実施 配布枚数200枚、うち回答数85枚 ・アンケート結果によると、①管理状況、②職員の対応、③満足度等について、いずれも回答者の80%以上がすごく良い、又は良いと回答しており高評価であった。 また、整備中の大型複合遊具について抱えているイメージや、園内放送への満足度など、時宜にあった質問も実施した。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法等を市ホームページやパンフレット等で周知し、また、Facebook・Instagram・Xその他親子向けポータルサイトを活用し、イベント情報等の情報発信を行った。
苦情・要望等の受付体制	○	アンケートで要望等を受け付ける体制を取っていた。
苦情・要望等への対応	○	苦情・要望等に適切に対応していた。 令和4年度実績 苦情1件、アンケート調査での要望0件 令和5年度実績 苦情4件、アンケート調査での要望0件
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され遵守されていた。（運用実績なし）

情報公開	○	情報公開の規程が整備され遵守されていた。（運用実績なし）
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者に配慮した案内（必要に応じた誘導等）、窓口対応（差別的取扱いの禁止等）等が適切に行われていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング		
自主点検状況	実施状況	
	・遊具について、営業日は必ず始業時と終業時の点検が行われた。 ・動物舎について、毎日、動物の健康状態や施設状況の点検が行われた。 ・園内全体のパトロールが毎日行われた。	

2 定期モニタリング		
定期報告状況	実施状況	
	・遊具の利用料金収入及びこどもの国の入園者数について、毎週の報告を義務づけ、適切に実施された。 ・毎月の月例報告書、年1回の実績報告書及び収支報告書が提出された。内容については年度当初は誤りが見受けられたが、年度後半は誤りも少なくなり改善が伺えた。	

3 随時モニタリング				
実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	14回	4月5日	担当	実地調査
		4月27日	担当	実地調査
		6月14日	担当	実地調査
		6月28日	担当	実地調査
		6月29日	担当	実地調査
		6月30日	担当	実地調査
		8月3日	担当	実地調査
		11月16日	担当	実地調査
		12月11日	担当	帳簿類及び施設の実地調査
		12月28日	担当	実地調査
		1月11日	担当	実地調査
		1月19日	担当	実地調査
		2月1日	担当	実地調査
		3月7日	担当	実地調査
	実施結果			
	経理及び修繕に関する実地調査を行い、通帳・領収書等の関係書類を検査した。その結果、事務の処理、書類の整備等は適正に処理されていた。			

※GL：グループリーダー